



ほんなこてゆたたり

文責 校長 平井 敏博

【令和6年度学校教育目標】
大人も子どもも、目指すは“とことん学び続け、とことん学び合う人”
～生涯学びの基礎づくり～

いよいよ夏休み！！
～1学期をしっかりとふりかえり、
夏休みは2学期の大事な助走期間に～



7・9に行われた新聞活用の授業の様子です。1学期もいろいろな貴重な体験・学びを、各学年つまかさねてきました。

2学期のよりよいスタートを切るために、夏休み前のこの時期が、とてもとても重要だと考えております。

理由は、2つです。

- ☆ 1学期のふりかえりをもとに、次の見通しを立てるいい時期であること。
- ☆ 夏休み前の“はじめが肝心”であり、工夫次第で夏休みの生活を自信につなげた上で、2学期を迎えることができるということ。

小学生時代に、子ども達に身に付けてほしいことがあります。それは、自分の今できることを精一杯やるということです。最近、さらにその思いが強くなっています。小さなことでも精一杯やっていると、他のことにどんどん広がっていくのです。学級全体がその機運になると、学校生活にメリハリも出てきます。これが“学び”の基盤です。

逆もしかりです。小さなことをテキトーにやっていると、それが他のことにも広がってしまうのです。

ここで大人の出番があります。前述の“工夫次第”のところですよ。“小さなことをしっかりやること”を誉めることです。本人がやろうと思えばすぐできることがいいです。

大人は、“小さなこと”を「それぐらい、できて当たり前！」と捉えやすいです。ハードルをすぐ上げてしまうのです。一方で、“小さなこと”を精一杯やることをサラッと流してしまうこともあります。テキトーにやっていることが見逃されるわけです。これもよくありません。

例えば、夏休みの朝起きる時間や寝る時間は、まず、大事にしたいです。数日任せて、できれば大いに奮める。できていなければ、ずばり指摘する。これが大事だと思います。見える化するために記録が必要です。冷蔵庫など、家族がみんな目にするところに貼っておくといいですね。※この後に紹介している『わくわく夏休み』の活用、ぜひ、お願いします。

なんでもかんでも、大人の都合の良いことを求めてしまうとといけません。3つぐらいに絞って、夏休み前にしっかり親子で共通理解した上ではじめることが大事です。この成功体験をつみかさねて2学期のスタートを切りたいです。

“安全・安心の夏休み”のために

- ☆ 生活リズムを崩さない（良いリズムを身に付ける）
- ☆ 交通事故、水の事故等の防止
- ☆ その他（熱中症対策、ネット環境等）

8月26日（月）の2学期始業式に、みんな元気に学校生活のスタートを切るといのが何より大事なことです。そのために、上の3つのことは、しっかりと子ども達の頭と心に留めてほしいです。保護者の皆様やご家族のご理解とご協力も不可欠です。なにとぞ、よろしくお願いします。

☆ 生活リズムを崩さない（良いリズムを身に付ける）

各学年で、オリジナルの生活ふりかえり表がある場合は、それを活用して下さい。



まず、起きる時間、寝る時間、午前10時までの学習タイム等、基本生活時間を、夏休み前に確認しておく必要があります。

『夏にチャレンジ』（学習課題）の別冊として、全年『わくわく夏休み』（生活チェックと1文日記）が配布されています。これをうまく使うと、“生活がんばりの見える化”ができます。

何事も「言うは易く、行うは難し」です。夏休み前に、子ども達と一っしょに書き方（記録の仕方）を確認して、夏休みをスタートして下さい。

☆ 交通事故、水の事故等の防止

自転車乗車時の約束（ヘルメット着用（あご紐まで）、道路横断は下車し左右確認）がしっかり守れているか、全職員、全保護者で観ていきましょう。危険なことを見かけたら、遠慮なく学校にお知らせ下さい。

☆ その他（熱中症防止対策、情報機器の約束等）

家庭、地域でも熱中症防止対策、ゲームやスマホの約束の確認を、夏休み前にお問い合わせいたします。